**英語科学習指導案**

１　学　年 中学校　第２学年

２　単　元　　 PROGRESS IN ENGLISH BOOK 2 　Lesson 4　　副詞・数詞

３ 目　標 英文を読んで，英語で要約することができる。(理解)

４　観点別評価規準（本時）

 ○学んだ表現を用いて身近な話題について積極的に述べようとしている。（関心･意欲･態度)

 ○要点や大意を把握し，英語で要約を書くことができる。（理解）

５　指導観

指導に当たっては， 次の点を工夫する。

①帯学習として，DebateやReportingに役立つ表現の口頭練習を毎時間行い，基礎力定着を図る。

②ペアでチャットを行い，相手の言ったことをまとめてreportし，最後に自分の意見を書かせる。４技能を関連付けた指導を行い，習得した基本文を「活用」する場面をつくる。

③英文を読み，「書かれた情報について大切な部分を正しく読み取り」，それを「要約」し，英語でまとめるとともに，ペアでレポートしあう機会をつくる。

６　学習展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 　　指導と支援　　　 | 評価規準［評価方法］ |
| 1 Review 小テスト | ・前時に学習した「数詞」をフラッシュカードで復習する。・小テストで書けるか確認する。ペアで答え合わせをさせる。（即時評価・即時強化） | 関学んだ表現を用いて身近な話題について積極的に述べようとしている。〔観察〕理解要点や大意を把握し，英語で要約を書くことができる。〔ノート〕 |
| 2 Warm-up（帯学習）　スラスラ英会話　 | ・Reportingで用いる英文を日本語と英語でシートにしている。これを用いて，「日本語を聞いて，それをできるだけ早く英語に直す」活動をペアで行わせる。 |
| 3 Reporting | ・『ワードカウンター』を使って，相手の話す英文の語数を数えながら，内容を頭に入れる。聞いた後には，相手に英語でreportingする。　reportした内容を，シートにまとめる。・全体から１人指名して，書いたことを発表させる。 |
| 4学習課題及び学習のねらいを知る | ・本時のAim（「初代大統領の知られざる素顔とは？　～少年時代のある出来事の秘密～（英語で７～10文で要約しよう）」）を伝える。 |
| 5 Pre-reading背景知識の活性化英文分割語彙の確認　Listening | ・iPodで米国大統領の写真を提示する。大統領について知っていることを話し合わすことで背景知識を活用し，本文に興味を持たせ，読みやすくするきっかけとする。・パラグラフ（段落）ごとにNo.をふらせる（全７つ）。・新出語句と重要語句の意味確認と発音練習をする。・生徒の英文理解を補助するために，意味のまとまりごとにスラッシュを入れさせながら音読する。 |
| 6 While-reading　速読・T/F　一文読解 | ・本文を時間を計って速読させる（短時間で読み切る練習）。・T／Fに答えさせる。解答確認は，TかFに挙手させながら行う。Fの場合はどこが違うのか，英文中の根拠を答えさせる。・内容・構文を一文ずつ簡潔に確認しながら，意味をとらせる。 |
| 7　Post-reading要約　ペアワーク | ・要点を正しく読み取り，要約させる（３ステップ）。①重要文（Topic Sentence）の発見　②下線を引く　③その文を参考に，要約文作成・要約した内容を，英語でお互い（ペア）に伝え合う。（自分の理解を伝える＋相手の情報で自分の理解を補充する）・相手の誤りが見つかれば，相手に知らせるように指示する。・何ペアか指名して，全体に発表させる。 |
| 8 学習を振り返る 自己評価・感想 | ・「評価シート」に本時の進歩・疑問点を簡潔に記入させる。・次時に，まとめのテストをすることを伝える。 |  |